

ミッドワイフトーク

助産師だより

ホーム
ページ版
Vol.5

平成27年3月 第16号
公益社団法人栃木県看護協会
宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4F
TEL 028-625-6141
発行責任者 河野順子

ごあいさつ

助産師職能委員長 寒河江 かよ子

会員の皆様には、ますますご健勝の事と心からお慶び申し上げます。
日頃のご協力に深く感謝しております。

栃木県看護協会助産師職能委員会の活動として、新人助産師研修会の開催、助産師の実践能力向上として、日本看護協会が推進する助産師のラダーの推進、地域住民への貢献としてヒューマンフェスタイベントへの参加や、「うまれる」映画上映など積極的に活動しています。

日本看護協会は平成25年度一都14県で「助産師出向支援事業」に取り組み、栃木県看護協会も実施しました。平成26年8名の助産師が出向にすることができ、出向した助産師は5か月で約50例の分娩介助を経験でき、助産師のラダーⅢ申請が可能になりました。助産師出向システムが定着し、助産師実践能力向上につながる事を期待しております。

助産師の活動



看護大会 H26.5.10

たくさんの方が参加して下さいました。





ねんりんピック H26.10.4～6
「いきいきキラりん！とちぎ元気フェスタ」をテーマに開催されました。



ヒューマンフェスタ H26.11.15
「人権・やさしさ・命の大切さ」をテーマに開催されました。
小さいお子さんを連れた家族が多く来場され、産声と胎児心音に耳を傾けたり、妊婦疑似体験をしました。



新人助産師、施設代表者交流会
H27.1.28
県内の産科施設代表者、新人助産師が集まり交流会を行いました。



施設紹介

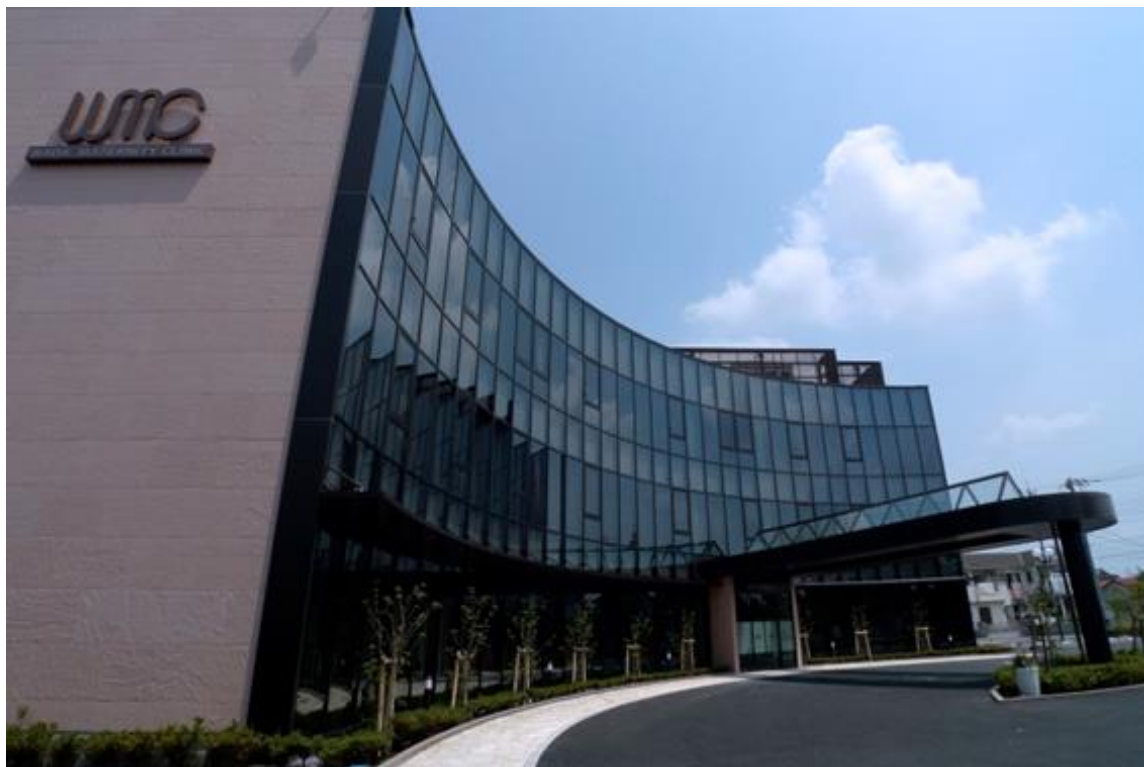
より快適で安全な周産期医療を目指して

和田マタニティクリニックは平成24年8月1日に栃木県下野市に開院したクリニックです。開院して2年半が経ち、平成26年は268件に分娩がありました。開院して間もない当院をお産の場所としてたくさんの方々を選んで頂き、うれしく思います。

スタッフは、院長をはじめ、助産師5名・看護師10名・事務3名・助手2名が在籍しています。外来では、いつでも患者様が受診できるようにと予約制をとっていませんが、十分な時間をとり、医師・助産師・看護師とコミュニケーションを持てるよう努めています。また、妊産婦さんご家族に満足したお産をしていただけるよう、パースプランを伺っています。

産後は、褥婦さんの希望に沿いながら、母児同室の育児を勧めています。病室は個室11床・大部屋3床あり、個室は天蓋のあるベッドで非日常的な空間となっています。さらにお産や育児で疲れた体を癒して頂くために、岩盤浴が設置してあります。

より快適で安全かつ満足できるお産、そして楽しく育児をスタートできるように、スタッフ一丸となってこれからも頑張っていきたいと思っています。



鹿沼で産みたーい！！

上都賀総合病院

2年間の休止期間を経て平成26年4月より、産婦人科病棟が再開しました。
病院もリニューアルし、新しい病棟で気分も新たにスタートを切ることができました。

休止期間中は、各自の目指す助産師像を改めて考え直し、助産師としての誇りやあり方を見つめ直すとてもよい機会であったと今は思います。

6月より分娩も再開し、NEW上都賀ベビーが誕生しています。
助産師として働くことが出来る喜びで、久々の分娩介助は感慨もひとしおでした。

休止以前とほぼ変わらぬスタッフのため、チームワークは抜群です。
患者様にも「再開を心待ちにしていました」との言葉を数多く頂き、身の引き締まる思いです。新しい環境の中で、「心に残るお産」を目指し、試行錯誤の日々を過ごしています。

産後の育児支援として、退院1週間後の電話訪問、助産師産後外来にも力を入れています。妊娠・出産だけでなく、産後の育児にも継続的に関わって行けるよう努めています。

今後も安心・安全に出産できる環境を整え、「上都賀病院で産んで良かった」と心から思ってもらえるよう、切磋琢磨し技術・態度の向上に努めていきます。

栃木県鹿沼市下田町1丁目1033番地
上都賀総合病院 4階東病棟(産婦人科)





「ことり助産院、はじめました」

小嶋由美

2014年春に、鹿沼市の西のはずれにある自宅に併設した形で「ことり助産院」を開業しました。見学にいらした方から「ことりのさえずりが聞こえるような自然豊かなところですね」と言われるような田舎です。ただ、助産所名の由来は苗字の「小嶋」⇒「ことり」で、幸せの青い鳥がシンボルマークです。簡単なホームページもありますのでどうぞご覧ください。

私は助産師になって大学病院に入職したと同時に、助産師会に所属し、地元の開業している助産師さん(というより産婆さん)を訪ね、地域に根差した助産師活動について学ぶようになりました。お産をする施設は様々な特徴を持ち、産む方はご自身の希望に合わせて出産施設を選んでいますが、最近では栃木県に出産ができる助産院が少なくなってしまうました。これからは地域や施設との連携を大切にしながら、助産院で出産したいという方のために頑張っていきたいと思っています。

また、子どもを産む次世代への性教育や女性の健康課題に沿った支援活動も助産師として大切な役割であると思いますので、こちらにも力を注いでいきたいと思っています。

